

平成26年度11月開催

第2回岩倉市議会ふれあいトークまとめ

～市民と議会との懇談会～



岩倉市議会

目 次

ふれあいトーク（議会報告会及び意見交換会）のまとめ	1
意見交換会の質疑応答及び意見	2・3
意見交換会のアンケート結果	4・5
議会報告会の講演内容	6～8
議会報告会の質疑応答及び意見	9・10
議会報告会のアンケート結果	11・12
ふれあいトーク分担表	13
その他（チラシ）	14

ふれあいトーク（議会報告会及び意見交換会）のまとめ

1 体育協会との意見交換会

(1) 開催日時等

- ① 開催日時 平成26年11月22日（土）午前10時～正午
- ② 場 所 岩倉市役所 7階 大会議室
- ③ 来場者数 21人
- ④ 出席議員 14人

(2) 内容

スポーツ行政全般についての意見交換
質疑応答及び意見（別紙1）

2 議会報告会

(1) 開催日時等

- ① 開催日時 平成26年11月22日（土）午後1時30分～午後3時30分
- ② 場 所 岩倉市役所 7階 大会議室
- ③ 来場者数 17人
- ④ 出席議員 14人

(2) 内 容

第1部

講演会（名古屋学院大学経済学部総合政策学科 西寺雅也教授）
市民参加と協働の実践論（別紙2）

第2部

市民を交えた自由討議（市政全般について）
質疑応答及び意見（別紙3）

※ 当日の分担及び配布資料については、別紙4のとおり

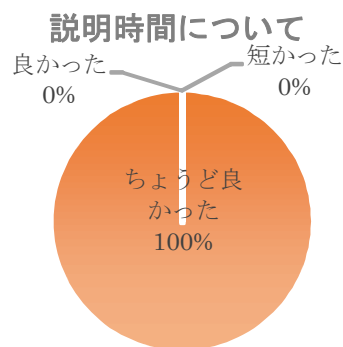
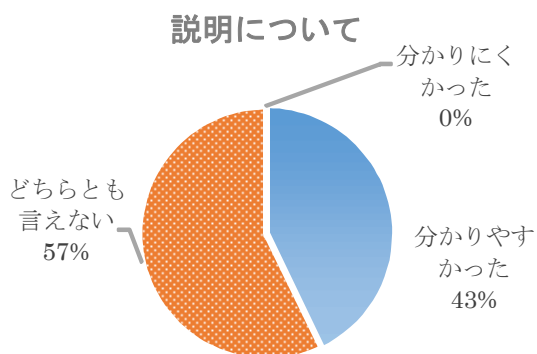
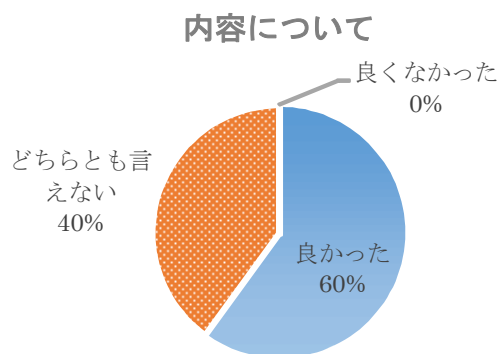
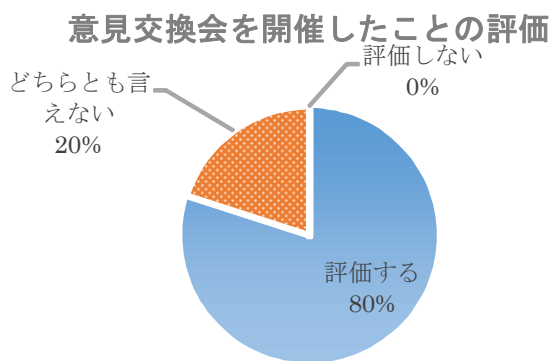
意見交換会		
項目	参加者の質問及び意見	議会の応答及び意見
意見交換会の意義について	意見交換会の目的、狙いが分からない。要望を聞くだけで終わってしまうのでは、意味がない。	昨年度から各種団体と意見を聞く場を持っている。皆さんからいただいた意見を、単発ではなく、議会として政策を作りたい。
サッカーグラウンドについて	市長のマニフェストにサッカーグラウンドの建設がある。	全員協議会で市長から説明があり、都市公園を拡張する形なら補助金が取れるとのことで、拡張分を芝生広場にしてサッカー等の練習して調査し提案したい。 議員の側からもっとスポーツ施設を増やしてもらうことを提案していきたい。 計画は発表できる段階ではないが、進めているということである。
芝生化等について	芝生化はメリットが大きい。子どもの健康づくりの環境整備はどうなのか。	小学校や保育園で芝生化をしている。都市公園は経費や管理の問題がある。 公園で子どものサッカーが頻繁にやられるようになり、周辺に被害や苦情が出て、ネットを市が張ったが、子どもの遊び場の確保が進むと面白い。
グラウンドと駐車場の確保について	グラウンドが少なく、取り合っている状況であり、住民とのトラブルもある。駐車場が少ない。グラウンドと駐車場をいかに確保するのか。	岩倉市の特性として練習場所を市外に確保することも一つの方策である。
	他所へ行けばあると言うが、そこまで行く交通費はどうするのか。	移動する手段を考えて、市として提供する選択肢もある。 グラウンド不足について、ハードでもソフトでも問題提起として受け止めさせていただく。 他のところに頼っているだけでは現状を変えることはできない。岩倉の中でグラウンドを整備する方向でないと難しい。
一宮春日井線高架下の活用について	跨線橋の高架下の空き地を駐車場として有効利用できないか。	可能性があるのかどうか見極めないといけない。 グラウンドゴルフで検討したが、ケガの恐れや整地の問題で話が止まっている。
プールについて	プールを壊しても、新しいものは造らない。議会が造れと進言できないのか。	民間の温水プールがあるが、温度の維持だけで年間1億円かかるのでランニングコストを考えないといけない。 プール廃止の問題はアンケートでやむを得ないという意見が多数であった。議会の発信力を付けていかなければならない。
体育施設の老朽化について	市立体育館の床が波打っている。南小でもカラーリングのローラーが勝手に転がる。メンテナンスをきちっとしてほしい。議会も現地を見て欲しい。	受け止めさせていただく。
野寄テニスコートの改修について	人工芝に張り替える工事があるが、水はけが悪いので水が溜まる。人工芝より滑らない塗料を塗ると良いコートになる。	テニス協会として意見を取りまとめ、管理しやすいものがあると言ってもらえば、議会から提案する。

項 目	参加者の質問及び意見	議会の応答及び意見
東京オリンピックへの派遣について	岩倉からアスリートを輩出したい。議会の力を借り、体協で支えていきたい。育成に金が掛かるので、市が控えているとなれば、選手は一生懸命努力する。	貴重な意見として承る。
指導者について	フットサル少年団を発足し、毎週木曜日アリーナで午後5時から7時まで活動しているが、コーチが大変である。コーチ不足が問題。	平日の授業後、スポーツ少年団の活動に障害はあるのか。
	若い人がお盆に戻ってくると、OB大会や交流を行っている。卒団式にも来てくれて、体験の話をしている。	スポーツ少年団で育った青年が、今度は自分が指導者になるなど、若い世代が戻ってきたくなる岩倉になればと思う。
体育協会の施設管理について	今は調査研究をしているが、近い将来、体育協会が管理させていただきたい。委託されて雰囲気的に冷たく感じる。子どもたちが遊んでいると、注意することもなく、環境的にもよくない。	総合体育文化センターが委託されたが、体育協会が管理運営することにより備品庫不足などの問題が解決するのではないか。
武道館について	武道関係は後継者がなかなかいない。武道する人は減っている。伝統ある武道館を壊すなんてもってのほかである。体育館の中の武道場とは違い、子どもたちに与える心境が全然違う。	武道館がなくなって、武道関係の場所が確保できているのか。武道の現状はどうか。中学校の武道場で名札を掛けたいが掛けさせてもらえないという苦情を聞いている。名札は子どもには励みになる。
市民負担について	国や県の補助金に頼るのももちろんだが、市民の有志や各種スポーツ団体にも負担をお願いする方法を考えても良いのではないか。	貴重な意見として承る。
スポーツ振興基本計画について		岩倉市にはスポーツ振興基本計画がない。駐車場の問題、総合体育文化センターの老朽化の問題、設備不足、北小の市立体育館の位置付けなどの課題を出し、整理して早く計画を作っていきたい。
その他	総合体育文化センターのアリーナで武道大会があったが、4コートのうちマットがあったのは3コートで、1コートはマットがなく、競技をした。収納場所がないからとのことだが、知恵を働かせれば何とかかなるのではないか。	受け止めさせていただく。
	名鉄沿線で柵があるところとないところがあるのはなぜか。	名鉄は敷地の境界線として柵を設置している。場所によって市が設置したり、名鉄が設置したりしている。問題としてあるのならば、具体的に出していただければ検討していただける。

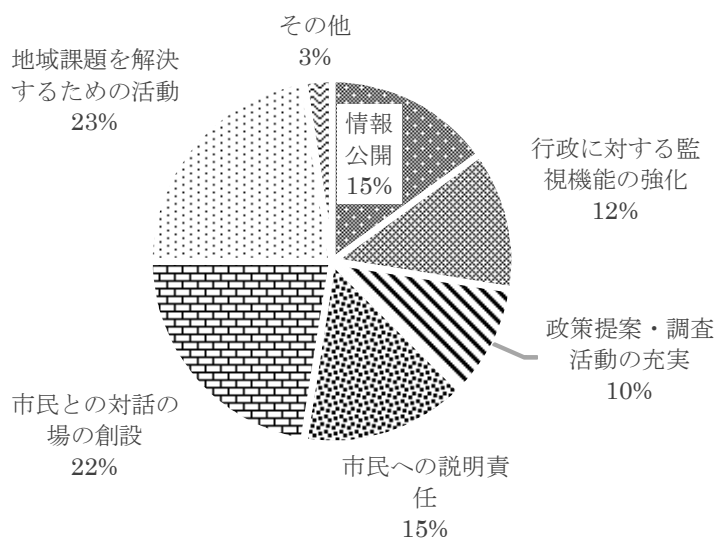
項 目	参加者の質問及び意見	議会の応答及び意見
その他	<p>現状いろいろな問題を各団体が整理して体育協会に取りまとめて、議会に提出し、議会から市長に要請していただく形にしないと意味がない会議となる。議会も受け皿を作っただけだと動きやすくなる。</p>	<p>意見交換会は1回限りにはしたくない。体育協会から話を聞いて、議会で議論してまとまったものを執行機関に投げかけていきたい。皆さんからいただいた意見でどう政策を作っていくか注目してほしい。</p>

平成 26 年 11 月 22 日開催のふれあいトークアンケート結果

意見交換会（21 名参加中 15 名回答）



議会や議員に何を期待しますか。



<意見>

- ・中学生のクラブ活動の選択がもう少し広くできないか。
- ・非常に有意義な時間を過ごせた。
- ・議会がより市民に近づいた感を覚えた。
- ・次回の開催を期待したい。
- ・各団体の色々な問題点を取りまとめ今後の方針を決めていく必要があると思う。
- ・世の中はマラソンブームで、市民ランナーが増えている中で岩倉市は競技を縮小してしまい参加者も激減した。
- ・場所を変えれば実施可能であるし、予算の関係は参加者に負担させれば良い。
- ・世の中に逆行すると市民は外に出て行く。
- ・住民1人当たりの公園面積は他市と比較してどうか。
- ・緑化基金の使用はどうなっているか。
- ・桁下の空間利用を議会として提案すべき。
- ・今後も続けてほしい。
- ・五条川小学校体育館のバトミントンコートのラインが消えてしまい困っている。現在はテープを貼っている。

市民参加と協働の実践論

名古屋学院大学経済学部総合政策学科

西寺雅也（元多治見市長）

0、 「地方自治は民主主義の学校」

地方自治は地域民主主義と市民自治の要素をもつことによって民主主義体制を支える市民を育成する（市民教育の場）といわれる

（身近な地域課題に取り組んだり、自ら行動することを通じて）

- ① 議会（議員）も長も直接市民に責任を負っている
- ② 二つの「代表」に市民は「白紙委任」をしているのか？
しばしば、市民の意思と議会（議員）の意思との乖離が起きる
- ③ 国政と異なり、自治体政治には直接民主主義的な手法が埋め込まれている
- ④ 自治体政治において「直接民主主義」は「間接民主主義」を補完するものか？（地方自治法でも「町村総会」を認めている）

<参考>

民主主義のレベルを測る基準（R.A.ダール（アメリカの政治学者））

- 1、実質的な参加（集団の政策が決定される前に、それがどんな政策であるべきかについて、すべてのメンバーが自分の見解を他のメンバーに知ってもらう機会が平等かつ実質的に確保されていること）
- 2、平等な投票
- 3、政策とそれに代わる案を理解する可能性
- 4、アジェンダ（会議の議題や議事日程）の調整
- 5、全成人の参画

1、 市民にとって参加とは I（法的に定められた市民の権利）

- ① 選挙を通じて意思を表明する
- ② 条例の制定改廃、監査請求の直接請求
- ③ 長・議員の解職、議会の解散の請求。幹部職員の解職
- ④ 住民監査請求
- ⑤ 住民投票（特定な案件のみ。一般的な投票制度は存在しない）
- ⑥ 請願権に基づく意見表明
- ⑦ パブリック・コメントへの意見表明

2、 市民にとって参加とはII

- ① 直接行動による意思の表明
集会、デモ、署名活動、出版・発行、SNS などを通じて働きかけを行う
- ② 要望・要求を直接議会・行政等に行う
- ③ 投書、提言、モニターなど
最近、自治体で制度化されていること
- ④ 市民参加のしくみ
- ⑤ 条例による住民投票（ただし、現時点では「諮問的な投票」にとどまる。
法的拘束力がない）
- ⑥ まちづくり協議会（政策の選択、予算の配分などの住民案を決める）などの設置（地域内分権の試み）

3、 市民自治は「自らの地域のことは自ら決定したと実感できる」その度合いによってレベルが分かる（「参加」のあり方が問われる）

4、 自治基本条例は自治体政治の原則を明示したもの

5、 「市民参加」と「協働」の違いはなにか

- ① 「協働」は市民等と議会・行政が共通の目的意識に基づいて、共同作業を行うことをいう
- ② 「市民参加」はむしろ行政や議会を統制する（コントロール）役割として市民が登場する（当然、対立が生じることもありうる）
たとえば、市民参加で政策評価をすれば、行政内部の評価などとは全くことなった評価が出てくるのが起きる（「事業仕分け」はその最たるもの）
- ③ 「市民参加」と「協働」は切り分けて考えた方がよい

6、 「市民参加」にもさまざまな問題点が存在する（ここでは政策形成過程への参加についての問題）

- ① 「代表」としての正統性がない（本当に市民の声を代表しているのか）
- ② 参加できる人が限定される（市民全体のさまざまな階層を反映していない。時間的制約があり、参加できる人が限られる）
- ③ 議事日程、諮問の方法等がしっかりしていないと形式的な会議になってしまう（こうしたことで「参加」が形骸化すると、市民の不信感がかえってまってしまう。）
- ④ 実質的な討議がなされるような会議の運営（市民にも職員にも討議に対

する訓練が必要)

- ⑤ 情報の共有ができるような情報の収集、整理、提供がなされないと議論はできない（役所の組織の文化や職員の力量が問われる）
- ⑥ 職員が主体性をもって臨まなければ、失敗の危険性が（丸投げはダメ）

7、 上の問題点を解決することは難しいが、常にその問題点を意識しながら市民参加の試みを続けることが大切

- ① 重要な課題については多様な「市民参加」を行い、重層化すること
- ② 市民参加の委員会が主催して「市民集会」などを開催することによって、より多くの市民の意向を汲み取り、議論を深める努力をする
- ③ 政策形成過程の情報を広報紙、HP で市民に伝える（双方向的に）
- ④ 最近では「熟議」（討議デモクラシー）といわれる方法が採用され始めた
 - ・ DP（討議型意見調査）
 - ・ 計画細胞

これらは市民の中から無作為抽出で選びだした人を対象にして行う点で共通している。この方法によってより多様な、通常「参加」しない人たちの参加が期待できる

①講師への質疑応答及び意見

項目	参加者の質問及び意見	講師の応答及び意見
市民参加条例策定のスケジュールについて	市民参加条例の策定が検討されているが、スケジュールはどうか。	スケジュールは申し上げる段階ではない。市民の方の意見を聞きながら、当初の予定より議論を深めるため、会議の回数を増やしている。月1回のペースで進めており、委員は10人で構成している（副市長）。
市民参加における代表について	市民参加と言うときに誰が代表なのか、どういう意見が代表なのかについてどう認識されているのか。	市民参加は、通常公に意見を日頃から話している人の場になっている。集落の中では何も言わない人、公に発言しない人は一杯いるので、そういう人の意見を汲み取る仕組みを考えないといけない。その参加の方法を工夫することである。
松阪市のルールについて	講師は松阪市のルールについて話をされたが、具体的にはどうか。	松阪市は市民委員会の結論を市民に投げかける場を作って、もっと広い場で議論している。二重に市民参加を行っている。
協働について	市民との協働とは何か。協働には条例に縛られないような活動領域が必要ではないか。弱者の声が出てくるような仕組みづくりが市民の協働ではないか。	協働はパートナーシップみたいいろいろな主体を持った人たちが関わりながら、共通の目的を目指していくこと。市民活動は自らが関わりながら、共通の目的を目指していくこと。市民活動は自主自立がないと行政との関係で活動自体が左右される。自分たちの組織をどう確立するかは組織の問題で、互いの立場を尊重し合うのが原則である。
委託と指定管理者について	民間委託が出ているが、この事業はこういう方向で委託をするというところがはっきりしないので、受ける方も推進する方も難しい気がする。	指定管理者制度もそうだが、施設の管理運営が上手くやれているかどうか検証しなければならない。
協働のルールブックについて	市民活動支援センターが市民活動団体に協働のルールブックがあることを周知しなければならないが、どう伝えていくのか。講演の中で「双方向的に」との話があったが、それは何か。市民参加を市民に伝える工夫があれば教えてほしい。	政策形成過程の情報をどう伝えるかという点、結果だけを知らせるお知らせ版と政策形成過程で市民参加条例の重要な情報を伝え、双方向で意見を求めるやり方がある。市民活動の拠点センターがホームページで分かりやすくすることが大事である。
住民投票について	外国人の住民投票への参加について、どう考えるのか。	かつて多治見市長のとき、在日の方は登録すれば投票権を認める条例案を提案したが、現在の住民投票条例は外国人を排除している。政治的に障害し、らち外に置くことはおかしい。自治体の選挙は住民みんなが選挙権を持つことが基本である。
合意形成について	会議は形式的にやるのではなく、じっくりとやった方がいいとの話があったが、行政側にとって問題はあるのか。	緊急にやらねばならないことは回数を増やすしかないが、多治見市は総合計画の策定に2年半かけ、じっくり話し合った。打ち切りみたいなことは市民の期待感を裏切ることになる。
	多治見市は条例を作るのに時間をかけて議論を尽くしているが、そういうことを作り出してきた土台は何か。	時間をかけてもお互いが納得できるものをきちんとやるのが自治の原則である。時間が掛かっても合意形成を最初から目指してやっている。

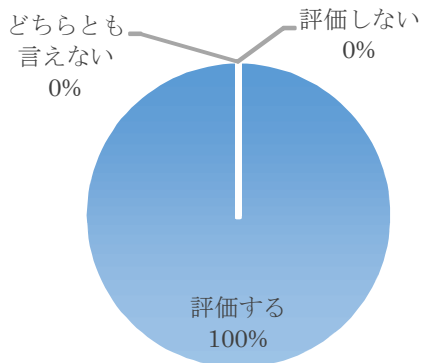
②議会への質疑応答及び意見

項 目	参加者の質問及び意見	議会の応答及び意見
傍聴について	議会だよりに傍聴のことが掲載されているが、何人くらいが来ているのか。	9月議会では本会議に37名、委員会に35名の計72名が傍聴している。少しずつではあるが増えつつある。
議会だよりについて	傍聴について掲載しても、大部分の市民は読まないのではないか。	改善を進めており、どうやって目立たせるのかが課題で、傍聴は規則を改正し、手続なしに傍聴できるようにしている。
議会報告会等について	議会報告会だから来た。議会だよりの議論白熱の話があると思ったが、先生の話だけ。双方向で聞くことが基本ではないか。 「みんなで意見交換しましょう」ということを書かないといけない。アンケートはどう書くのか。報告会の内容や評価について書くのではないのか。体育協会との意見交換会についても知らされていないが、なぜ載せないのか。	議会報告会の名称にするとなかなか人が来ない。ふれあいトークの名称でチラシ等を出した。ふれあいトークの形態で皆さんの意見を聞くということで、まだ試行錯誤の段階である。 意見は参考にする。 反省会を持ち、今後のあり方を検討する。
その他	前回のふれあいトークでの集団的自衛権の話が議会だよりに掲載されていないのはなぜか。	紙面の都合もあって全部掲載していないが、ホームページに載せている。

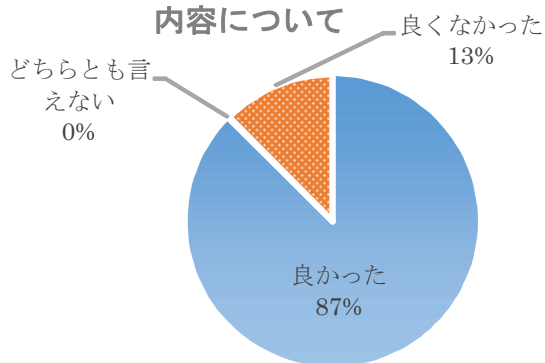
平成 26 年 11 月 22 日開催のふれあいトークアンケート結果

議会報告会（17 名参加中 9 名回答）

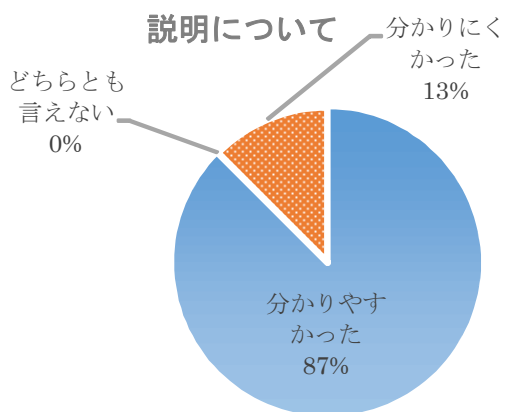
議会報告会を開催したことの評価



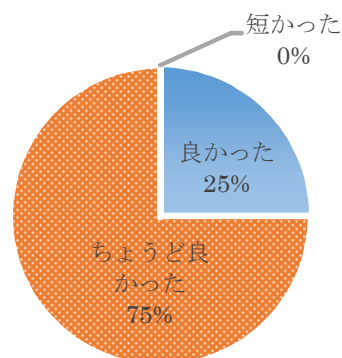
内容について



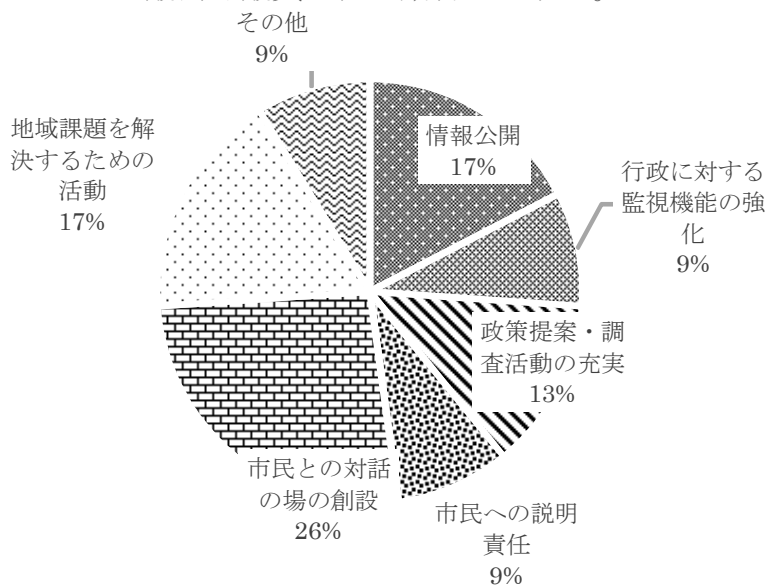
説明について



説明時間について



議会や議員に何を期待しますか。



<意見>

- ・市民活動団体との協働については、行政と市民のお互いの意識のすり合わせが必要である。
- ・テーマごとにグループディスカッションをしたらどうか。
- ・アンケートを内容に合わせて作成してほしい。
- ・議員・職員・市民で共に学べて良かった。
- ・講師の方の説明もわかりやすかった。
- ・市民参加を実践する場合の心構え、大事なことを楽しく学ばせてもらった。
- ・市民一人一人の意識改革が必要である。
- ・初めて参加したが有意義であった。